

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	1,040,697千円	951,898千円	944,360千円	0千円
総人件費	15,360千円	15,239千円	15,026千円	
総事業コスト	1,056,057千円	967,137千円	959,386千円	

部等名	課等名	係等名
環境生活部	クリンセンター-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	13	可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経費

事務事業名	01	可燃ごみ焼却処理施設維持管理事業	指標名	-				指標種別	-			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		事業計画	26年度に引き続いて安定的な焼却運転を行う				事業計画	平成27年度に引き続き安定的な施設の運転及び維持管理を行う。			
事業分類	F 施設等維持管理事業		活動実績	可燃ごみ搬入量:65,481トン (ただし、平成28年2月末現在)				上半期活動実績	-			
執行体制	一部委託		成果	環境基準を遵守し、可燃ごみ処理施設の維持管理と可燃ごみの処理を適正に行い、市民の公衆衛生に対して重要な役割を果たした。包括液運営管理委託を行うことにより、経費削減となった。				上半期成果	-			
事業の目的	市内から排出された可燃ごみの搬入処理をするのに、焼却施設にて適正に維持管理し安全・安定稼働を行うため。		課題	-				課題	-			
事業の概要	市内から排出された可燃ごみを、クリンセンターに搬入し焼却施設にて適正に処理する。焼却施設の維持管理を行う。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	-	-
ISO 14001	環境	関連性	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			評価	有効性	-		
				効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性	-		
				総合評価	A: 成果を維持して継続実施				総合評価	-		
			その他の指標	-				事業実施コスト				
								事業費(A)				
								国庫支出金				
								県支出金				
								地方債				
								その他特財				
								一般財源				
								人件費(B)				
								正職員				
								従事割合				
								時間外勤務				
								臨時職員等				
								事業コスト(A+B)				
								H29年度当初積算根拠				
								H29年度の方向性				
								理由				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	1,040,697千円	951,898千円	944,360千円	0千円
総人件費	15,360千円	15,239千円	15,026千円	
総事業コスト	1,056,057千円	967,137千円	959,386千円	

部等名	課等名	係等名
環境生活部	クリンセンター-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	13	可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経費

事務事業名	02 可燃ごみ処理施設の発電・売電事業				指標名	-				指標種別	活動結果指標						
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要				
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	16,000Kwh	16,000Kwh	-	-	-	-	-	年間の発電の余剰電力量計画値を指標としている。				
総合戦略	-	-	-	-	実績	15,111Kwh	-	-					その他の指標				
個別計画					H27年度				H28年度								
根拠法令等					改善目標					改善目標							
事業分類	A 任意的事業				事業計画	26年度に引き続き余剰電力を売電する。				事業計画	平成27年度に引き続き安定的な発電を行い,余剰電力の売電を実施する。						
執行体制	一部委託				活動実績	発電電力量:23,238,329kW 場内使用電力量:8,463,779kW 売電電力量:14,968,638kW 売電電力料金:172,105千円 (ただし,平成28年2月末現在)				上半期活動実績							
事業の目的	クリンセンター-焼却炉の余熱を利用して,蒸気を発生させタ-ピン発電機による発電を行う。				成果	可燃ごみ焼却施設の安定的な運転を行うことにより発電・売電を実施できた。				上半期成果							
事業の概要	発電した電力は,クリンセンター-場内で使用し,余剰電力をサミットエナジ-へ売電する。 平成21年度より長期包括的運営管理委託業務を実施し,余剰電力の売電額の半分を分配金として委託業者へ支払う。				課題					課題							
ISO 14001 関連性					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠				
					評価	有効性	高:成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性			H29年度の方向性		-	理由	-
						効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性							
						総合評価	A:成果を維持して継続実施			総合評価							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	168,211千円	170,252千円	175,032千円	0千円
総人件費	15,515千円	15,423千円	7,510千円	
総事業コスト	183,726千円	185,675千円	182,542千円	

部等名	課等名	係等名
環境生活部	クリンセンター-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	14	粗大・不燃ごみ処理施設管理に要する経費

事務事業名	01 粗大・不燃ごみ処理施設維持管理事業				指標名	-				指標種別	-												
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	-									
戦略プラン	-	-	-	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	その他の指標	-									
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度					事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初					
個別計画	-	-	-	-	改善目標	処理能力の確保を図る。				改善目標	処理能力の確保を図る				事業費(A)	166,067千円	166,551千円	170,196千円	0千円				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				事業計画	定期的な点検整備や修繕を実施してゆく。				事業計画	定期的な点検整備を実施していく				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	・粗大・不燃ごみ搬入量:4,507トン ・資源ごみ(かん,びん,古紙古布,ペットボトル)搬入量:4,726トン ・有害ごみ(乾電池,蛍光管)搬入量:42トン (ただし,平成28年2月末現在)				上半期活動実績	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
執行体制	一部委託					成果	粗大・不燃ごみ処理施設の維持管理と,粗大,不燃,資源及び有害ごみの処理を適正に行い。市民の公衆衛生に対して,重要な役割を果たした。				上半期成果	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	・市内から排出された粗大,不燃,資源及び有害ごみの搬入処理をするため。				課題	施設の老朽化による処理能力の低下				課題	-				その他特財	70,877千円	69,284千円	76,164千円	0千円				
事業の概要	・市内から排出された粗大,不燃,資源及び有害ごみをクリンセンターに搬入し,有価回収施設(30t/8h)及び粗大ごみ処理施設(50t/5h)にて適正に処理する。 ・粗大・不燃ごみ処理施設の維持管理を行う。				事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-	一般財源	95,190千円	97,267千円	94,032千円	0千円				
ISO 14001 環境関連性	-	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			人件費(B)	7,748千円	7,685千円	3,755千円					
				効率性		中:適切な費用対効果が得られている			効率性		-			正職員	従事割合	1.00人	1.00人	0.50人					
				総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価		-			時間外勤務	57.00時間	96.00時間	15.00時間						
														臨時職員等	有	有	有		H29年度当初積算根拠				
														事業コスト(A+B)	173,815千円	174,236千円	173,951千円		H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	168,211千円	170,252千円	175,032千円	0千円
総人件費	15,515千円	15,423千円	7,510千円	
総事業コスト	183,726千円	185,675千円	182,542千円	

部等名	課等名	係等名
環境生活部	クリンセンター-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	14	粗大・不燃ごみ処理施設管理に要する経費

事務事業名	02	施設から発生した有価物の売却・リサイクル事業	指標名				指標種別				指標の概要			
			-	-	-	-	-	-	-	-				
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-		
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
根拠法令等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
事業分類	A 任意的事業				H27年度				H28年度					
執行体制	一部委託				改善目標	処理工程の確認を行い適正な運転管理を行う。				改善目標	処理工程の確認を行い適正な運転管理を行う			
事業の目的	有価物売却収入の増加を図るのに、資源物の回収効率を高めるため。				事業計画	定期的な点検整備や修繕を実施してゆく。				事業計画	定期的な点検整備を実施していく			
事業の概要	有価物回収施設(30t/8h),粗大ごみ破碎処理施設(50t/5h)等の運転管理を委託 有価物の売却・リサイクル ・ビン(白・茶・その他),ペットボトル(財)日本容器包装リサイクル協会へ再商品化を委託 ・アルミ,鉄類,紙類,古布等 3ヶ月毎に入札により,業者に売却する。				活動実績	有価物売却結果 アルミ,鉄類,紙類,古布等:66,160千円(歳入) ペットボトル:6,825千円(歳入) ビン:106千円(歳出) 計72,985千円(売却益) (ただし,平成28年2月末現在)				上半期活動実績	-			
ISO 14001 環境関連性	-	-	-	-	成果	循環型社会を実現するため適正な分別を行い再資源化を推進した。				上半期成果	-			
					課題	処理の際,分別の徹底によりリサイクル率の向上を図る				課題	-			
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
					有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-			
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			
					評価	理由				H29年度の方向性	-	理由	-	
					事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	2,144千円	3,701千円	4,836千円	0千円
					内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
						県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
						地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
						その他特財	2,144千円	3,701千円	4,836千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
						一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
						人件費(B)	7,767千円	7,738千円	3,755千円					
					内訳	正職員	従事割合	1.00人	1.00人	0.50人				
						時間外勤務	64.00時間	116.00時間	15.00時間					
						臨時職員等	無	無	無					
						事業コスト(A+B)	9,911千円	11,439千円	8,591千円					
						H29年度当初積算根拠	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	56,867千円	50,579千円	59,555千円	0千円
総人件費	7,737千円	7,623千円	7,623千円	
総事業コスト	64,604千円	58,202千円	67,178千円	

部等名	課等名	係等名
環境生活部	クリンセンター-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	03	11	し尿処理施設に要する経費

事務事業名	01	し尿処理施設維持管理事業	指標名	-				指標種別	-							
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		事業計画	定期的な点検整備や修繕を実施し、老朽化に対応				事業計画	定期的な点検整備や修繕を実施し、老朽化に対応							
事業分類	F 施設等維持管理事業		活動実績	・処理量 9,918.1kl(生し尿:1,693.1kl,浄化槽汚泥:8,225.0kl) (ただし,平成28年2月末現在)				上半期活動実績	-							
執行体制	一部委託		成果	し尿処理施設周辺に対する悪臭防止や処理水質の下水道水質基準を厳守しながら,し尿処理施設の維持管理とし尿処理を適正に行った。				上半期成果	-							
事業の目的	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り,市民の健康で快適な生活を確保するため。		課題	処理施設の老朽化に伴う処理能力の低下				課題	-							
事業の概要	・し尿処理施設の維持管理 ・処理能力:50kl ・処理方式:好気性消化処理方式		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠					
ISO 14001 関連性	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-						
				効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-						
												事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
												事業費(A)	56,867千円	50,579千円	59,555千円	0千円
												国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
												県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
												地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
												その他特財	2,851千円	2,966千円	2,850千円	0千円
												一般財源	53,857千円	47,613千円	56,705千円	0千円
												人件費(B)	7,737千円	7,623千円	7,623千円	
												正職員	従事割合	1.00人	1.00人	1.00人
												時間外勤務	53.00時間	73.00時間	73.00時間	
												臨時職員等	無	無	無	
												事業コスト(A+B)	64,604千円	58,202千円	67,178千円	
												H29年度当初積算根拠	-			
												H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	0千円	0千円	256,651千円	0千円
総人件費	7,593千円	7,428千円	7,428千円	
総事業コスト	7,593千円	7,428千円	264,079千円	

部等名	課等名	係等名
環境生活部	クリンセンター-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	18	可燃ごみ焼却処理施設設備改良事業に要する経費

事務事業名	01 可燃ごみ焼却処理施設設備改良事業				指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-					
					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度										
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	-	-	-								
総合戦略	-	-	-	-	実績	-	-	-													
個別計画					H27年度				H28年度												
根拠法令等					改善目標					改善目標											
事業分類	E 補助金・負担金事業				事業計画	工事発注に向けての準備業務				事業計画	平成28年6月定例会に基幹的設備改良工事契約議案上程 ・基幹的設備改良工事設計審査・管理業務発注				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
執行体制	職員のみ				活動実績	基幹的設備改良工事発注事務				上半期活動実績					事業費(A)	-	0千円	256,651千円	0千円		
事業の目的	市民から排出される家庭系及び事業系の一般廃棄物を適正かつ安定して処理するには、可燃ごみ処理施設の基幹的設備改良事業を行うことにより、市民生活の根幹をなすごみ行政の円滑な推進を図る。				成果	工事発注し、仮契約を締結				上半期成果					国庫支出金	-	0千円	75,312千円	0千円		
事業の概要	焼却炉に付随する電気機械設備を含めた大規模なリニューアル工事を実施し、施設全体の延命化を図る。				課題	平成28年6月定例会に議案を上程し、議決を得て本契約となる				課題					県支出金	-	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001 環境関連性					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	地方債	-	0千円	36,100千円	0千円	0千円			
					評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		その他特財	-	0千円	0千円	0千円	0千円			
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-		一般財源	-	0千円	145,239千円	0千円	0千円			
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		人件費(B)	7,593千円	7,428千円	7,428千円					
													正職員	従事割合	1.00人	1.00人	1.00人				
													時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間					
													臨時職員等	無	無	無					
													事業コスト(A+B)	7,593千円	7,428千円	264,079千円					
													H29年度当初積算根拠	-							
													H29年度の方向性	-	理由	-					